校訓	盡　己	令和７年度学校通信 「松中だより」 第1号	発行日	令和７年４月１１日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長　今井　克己

【新年度がスタートしました】

１７３人の新入生を迎え、新２年生１８０人、新３年生１７４人、全校生徒合計５２７名で令和７年度がスタートしました。今年度もよろしくお願いいたします。

【第５１回入学式　式辞】・・・・〔前略〕・・・・

１７３名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また保護者の皆様にもお子様のご入学、心よりお祝い申し上げます。

さて、みなさんはこれをご存じでしょうか？

これはまもなく開幕する大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」です。

では大阪・関西万博のテーマ、サブテーマを知っていますか？

テーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」

サブテーマは「いのちを救う」

「いのちに力を与える」

「いのちをつなぐ」です。

ここ数年、感染症や災害、戦争などでひとつひとつのかけがいのない命が危機にさらされる出来事がおきています。大阪・関西万博は、これらの人類の課題解決に向け、世界の８０億の人たちが、アイデアを交換・創造・発信し、先端技術など英知を集め、いのち輝く未来の社会を共に創っていこうコンセプトのもと開催されます。

実は大阪・関西万博の目指すものと、みなさんが入学したこの松崎中学校の目指すものは同じです。

松崎中学校は学校教育目標「未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成」をかかげ、日々の教育活動を展開しています。みなさんは、これから先の予測不可能な社会の中で、答えのない課題に立ち向かい生きていかなければならないといわれています。よりよく生きていくために、「自分で考え、判断し、責任を持って行動する力」が求められています。自分や社会の目標を達成するには何をしなければならないか、社会の中で、たくさんの人とよりよく生きていくためには何が必要かを、誰かに決めてもらうのではなく、自分たちで考えていかなければなりません。舞台左上に掲げている校訓「盡己」は「何事にも自分のベストを尽くす」という意味ですが、松崎中学校で求めているのは「先生や先輩に言われたこと、与えられたことを、ただただ一生懸命やること」ではありません。

新入生のみなさんは、最初はすべてが初めてのことばかりで、どうしても「言われたことをやる」ことが多くなるかと思います。しかし、学ぶことはしっかり学び、中学校生活に慣れ、「自分で考え、判断し、責任を持って行動する力」、「自律と主体性」をしっかり身につけてもろいたいと思います。そして、「いのち輝く未来の社会」をしっかりデザインできる大人に成長してもらいたいと思っています。先生たちも頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

さあ、今日から中学校生活がスタートします。今日から皆さんは「チーム松中」の仲間です。

一緒に頑張りましょう。

令和七年四月九日

伊丹市立松崎中学校長　今井　克己